

授業科目名・形態	病態治療学Ⅲ（小児科） 演習	必修・選択の別	必修	単位数	2
担当者氏名	丹代 諭・澤田 朋啓・久保かほり	実務経験の有無	有	開講期	2年前期

### 【授業の主題】

小児の心身の成長・発達や健康状態を母子関係の重要性を理解しながら学ぶとともに、人の一生の中の小児の位置づけを考えてゆく。

また、心身の成長・発達過程での異常や種々の疾患を理解し、それらの症状や治療法についてもよく学習し、小児の特性に配慮した看護について学ぶ。

### 【到達目標】

看護師になってから実践できる知識を身につける。

### 【授業計画・内容】

- 第 1 回 感染症、寄生虫疾患（澤田）
- 第 2 回 感染症、寄生虫疾患（澤田）
- 第 3 回 消化器疾患（澤田）
- 第 4 回 呼吸器疾患、代謝性疾患、内分泌疾患（丹代）
- 第 5 回 循環器疾患、血液リンパ系疾患、悪性腫瘍（丹代）
- 第 6 回 出生前・新生児疾患（久保）
- 第 7 回 免疫、アレルギー性疾患、膠原病、腎・泌尿器・生殖器疾患（丹代）
- 第 8 回 神経疾患（久保）
- 第 9 回 神経疾患（久保）
- 第 10 回 運動器・皮膚・眼・耳鼻疾患、事故、虐待（丹代）
- 第 11 回 試験

### 【授業実施方法】

講義、ビデオ供覧、参考書籍紹介

### 【授業準備】

講義で使用した配布資料や教科書の復習を行ってください。

### 【主な関連する科目】

小児看護方法論Ⅰ・Ⅱ

### 【教科書等】

系統看護学講座専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論 医学書院

### 【参考文献】

特になし

### 【成績評価方法】

筆記試験の成績 100%で評価する。

### 【実務経験及び実務を活かした授業内容】

小児科の臨床医として勤務。この経験を活かして実践的な授業にしたい。

### 【学生へのメッセージ】

小児科は疾患範囲が広く敬遠されがちだが、コツがあるので楽しく学んでもらいたい。